

## 第5分科会

# 新時代における小規模 事務所の経営ノウハウ ～事務所経営のビジネスモデルを探る～

分科会長 若松 俊幸（山口県弁護士会）

約400名が参加し、非常に熱気のあるシンポジウムとなった。

当分科会では、分科会長が音頭を取り、事前に全国12か所の法律事務所で開催ノウハウのヒアリングを行った。

午前中は、西谷良彦会員（兵庫県）、諸橋哲郎会員（山形県）、井野一弘会員（仙台）、麻生昭一会員（大分県）が、ヒアリングの分析を「対内的な満足度」「対外的な満足度」「事務所の運営管理」「経営理念」の4つの視点から報告した。

午後は、兼平誠也会員（函館）が課題を整理した上で、樫島修会員（福岡県）、福元紳一会員（鹿児島県）、大澤一郎会員（千葉県）、

森本精一会員（長崎県）、中野俊之氏（事務職員）、井上晴夫会員（島根県・コーディネーター）による

パネルディスカッションを行った。4つの視点に万遍なく触れつつ、事務所のマネジメントに重点を置いて議論した。勤務弁護士の待遇の決め方のバックグラウンドには、経営理念があることを紐解きながら、勤務弁護士の育成方法や、事務職員の役割・業務範囲などを中心に議論した。

社会の急速な変化に弁護士業界も適応していかなければならないところ、参加者に示唆を与えるシンポジウムになった。